



患者さん 地域の皆さんとのコミュニケーション情報紙

済生みと

No. 40
2020
Winter

特 集

患者支援センターのご利用案内



患者支援センター各部門のリーダースタッフ。中央が 海老原 至 副院長
兼地域医療支援部長。向かって右隣（白衣）が 鈴木 美恵子 センター長
＜注＞ 職員紹介のためマスクを外して撮影しています。

右の QR コードから当院のホームページに
アクセスできます



患者さんのサポート充実に向けて

水戸済生会総合病院

副院長

地域医療支援部長

海老原 至



「健康で長生きしたい」とは、誰しも願う人生の1つの目標ではないでしょうか。様々な健康維持の方法が話題になり、寿命に関する研究が国内外で盛んにおこなわれているのも、多くの人が長寿を願っているからにはほかなりません。古くは今から約2200年前に中国をはじめて統一した秦の始皇帝が不老長寿（不死）を求めていたことは有名ですし、日本においても天智天皇が狩りに出た際、長寿の老人に会い、その長寿の秘訣を尋ね、不老長寿の果実を受け取った逸話（670年頃といわれ、現在もその果実は皇室に献上され続けています）が残っており、遙か昔から現代に至るまで人類にとって長寿が永遠のあこがれであることは疑う余地がありません。

最近の日本は、人生100年時代とか100歳以上の方が8万人を超えたとか、長寿に関連する声を聞くことが多く、世界の冠たる長寿国の地位を得たことは間違いありません。しかし現実には茨城県における『健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間』、いわゆる健康寿命は男性72.50歳（全国9位）女性が75.53歳（全国8位）であり、80歳を超える平均寿命ま

での差が男女ともに10年以上あり、このことは病気や介護・介助の問題があり健康上の何らかの心配を抱えた人が数多くいることを示しています。残念ながら古代からの憧れである長寿でいることがむしろ新たな憂いを生み、必ずしも幸せだけをもたらしていると限らなくなっています。

私たち医療従事者にとっては、病気のため入院そして治療を受ける皆様に入院前の不安や、入院中の治療はもちろん退院後の介護・介助、受けられる公共のサービスなど、少しでも病気に関連する憂いを減らし相談をさせていただくことが、今後長く続くであろう長寿社会において大切な役割になります。

このたび、当院では患者支援センターを設立致しました。当院で治療を受けられる全ての皆様の、病気を含めた憂いが少しでも軽減できるようお手伝いさせていただきます。病気に関する事のみならず、入院前の心配事・退院後に受けられる公共サービス、食事やリハビリテーションなどの相談でももちろん喜んでお受けいたしますので遠慮なくご利用ください。

患者支援センター

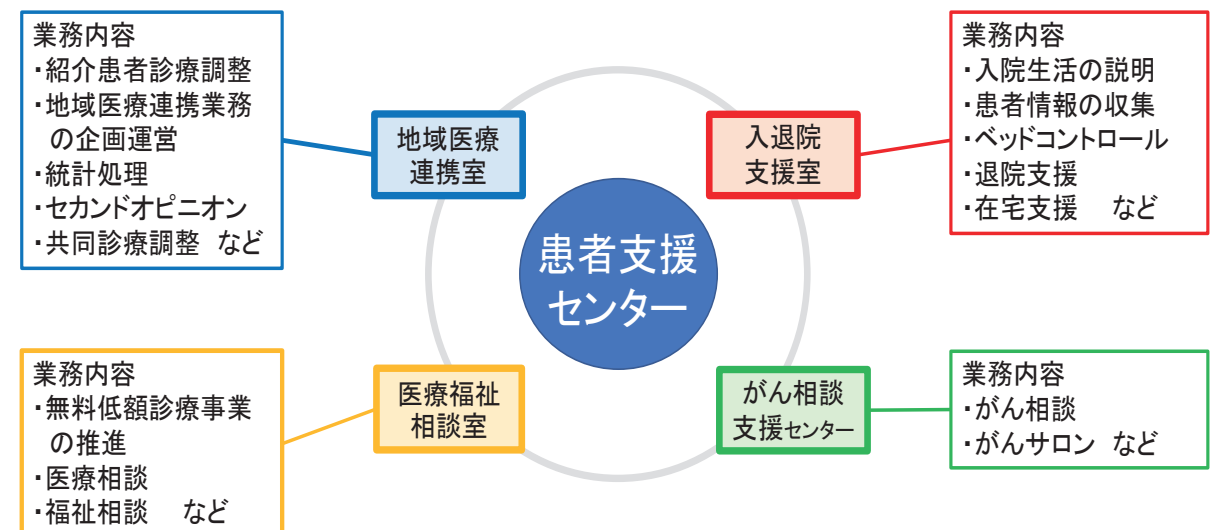


水戸済生会総合病院 患者支援センター を設置しました

当院を利用される患者さんへの支援体制充実に目的に、入退院支援室、地域医療連携室、医療福祉相談室、がん相談支援センターで構成する「患者支援センター」を設置しました。

医師、看護師、医療ソーシャルワーカーをはじめ多くの職種のスタッフが協働して、患者さんが受診から入院・退院後の生活まで、安心して診療を受けられるようサポートします。

患者支援センター 各部門の役割

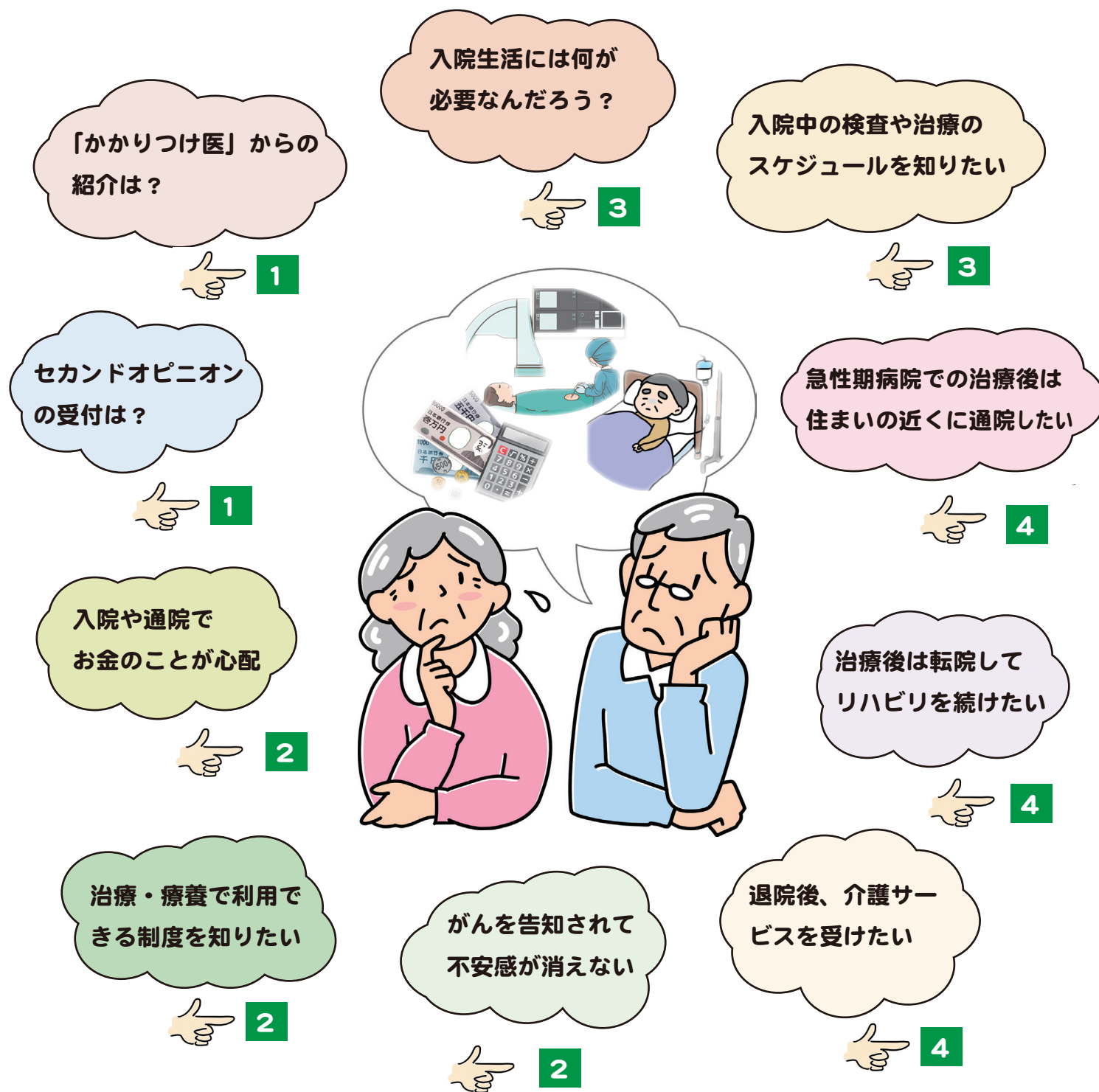


外来受診から退院後まで切れ目のない支援を行います



こんなとき 患者支援センターが

あなたのお力になります



★ 入院中の患者さんは、まず、病棟スタッフにご相談ください。

患者さんやご家族の皆様は、様々な悩みを抱えておられます。

これら以外のことについても、いつでもお気軽にご相談ください。

外来受診、入院から退院後まで切れ目のない支援を行います。

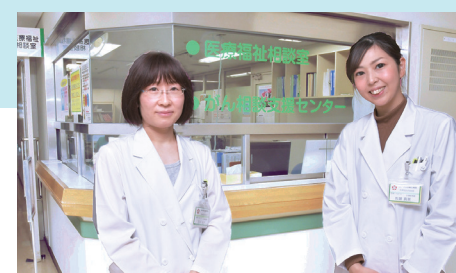
1 地域医療連携室

「かかりつけ医」と連携し、紹介患者様の外来予約取得、緊急紹介、入院・転院の受け入れ、セカンドオピニオンの予約などを行っています。また、医療機器共同利用や検査の予約なども行っています。「紹介患者様は断らない」をモットーに、各診療科のドクターと協力し、受け入れ態勢を整えています。



2 医療福祉相談室・がん相談支援センター

専門の医療ソーシャルワーカー（MSW）が、患者さんの様々な悩みをお聴きし、医療費など経済的な問題、退院後の療養などに関する社会的な問題、心理的な問題等について、患者さんとともに問題の解決を目指します。また、がん患者さん及びご家族の方からの、がんに対する不安や心配事についてのご質問やご相談を専門の相談員（看護師、MSW）がお伺いします。



3 入退院支援室【入院支援】

入院が決まった患者さんが安心・安全に入院生活を送れるよう、看護師、薬剤師、栄養士など専任のスタッフが入院前の患者さんの状態やご要望を把握して、適切な準備を進めます。患者さんには、入院の案内資料や治療スケジュール表などを使用して入院生活についてご説明します。



4 入退院支援室【退院支援】

各病棟に退院支援専任者（MSW・退院調整看護師）を配置しています。治療後も、住み慣れた地域で安心して過ごせるよう、入院中から主治医、病棟看護師、リハビリスタッフなどと情報を共有しています。必要時には地域の医療（転院や往診）・介護や福祉のスタッフと共に支援を行います。



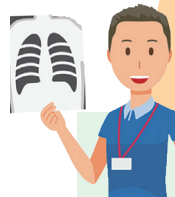
<注> スタッフ紹介のため、マスクを外して撮影しています。相談業務などではすべて、職員のマスク着用はもとより患者さんやご家族にもマスクの着用をお願いしています。

多職種の専門スタッフが
力を合わせて患者さんを
サポートします。



薬剤師

患者さんが入院前に処方されている薬や診療歴を伺い、入院後の検査や手術に際しての投薬中止情報などを把握します。また、処方される薬の目的、使用方法などを患者さんのご理解が得られるよう説明します。



放射線技師

連携医療機関から放射線技術科関連検査の依頼があった場合や、機器利用の申込みがなされた場合の対応が中心業務ですが、必要に応じて他部門の支援チームに加わり活動します。



臨床検査技師

連携医療機関からの臨床検査に関連する検査依頼に対応します。他部門から支援チームへの参加要請があれば、構成メンバーの一員として活動に加わります。



医師

主治医を中心に患者さんの診療にあたります。必要に応じて院外の医療機関の先生方と連携し患者さんに最適な診療を提供できるよう努めています。また、患者さんが悩みや疑問を持たれた時、最初にご相談いただける存在でもあります。



事務職員

地域医療連携室での業務をはじめ、多くの部門で専門職のスタッフを支え、センター業務が効果的に滞りなく進むよう医療情報の管理・提供などの事務処理にあたっています。



MSW（社会福祉士）

医療費の支援制度、退院後の生活、がんに対する不安や心配事など、患者さんの悩みに幅広くお答えします。必要に応じ、多職種のスタッフと連携して、患者さんが抱えておられる問題の解決を目指します。



看護師

当センターのほぼ全ての部門で各部門専任の看護師が支援業務にあたっています。入院前から患者さんの状況を把握して入院中の病状管理や生活援助を行い、治療後は住み慣れた地域に安心して退院（在宅・転院）できるよう支援していきます。



リハビリ専門職

入院中のリハビリを理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が担当します。患者さんの入院前の生活・身体状況を踏まえ、退院された後の身体機能の回復・維持、生活様式などについて指導・助言をさせていただきます。

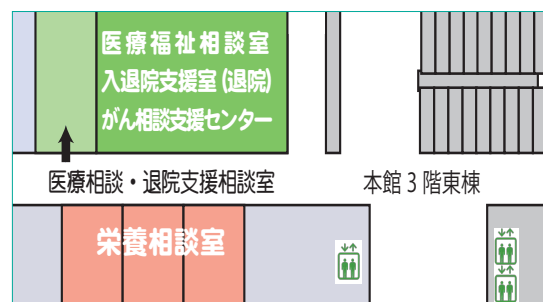


管理栄養士

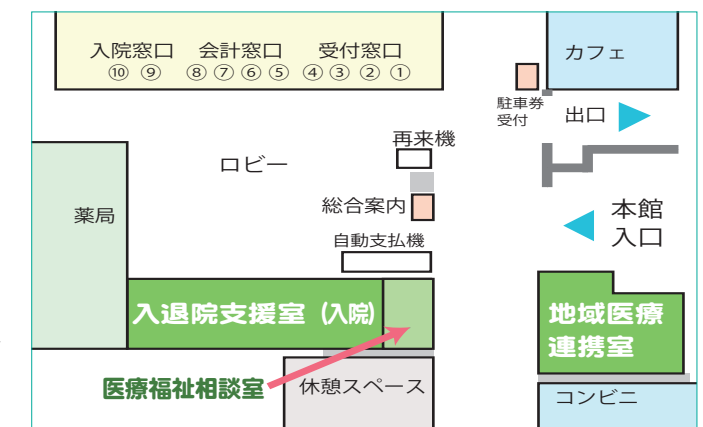
入院前に食物アレルギーの確認を行い、必要に応じて食事形態の相談を受けるなど、入院食を安全に提供できるよう準備を行います。また、手術前の栄養指導で栄養状態の確認と食事内容の説明をします。入院中は病棟担当栄養士が入院前の情報をもとに栄養管理を行います。



患者支援センター長（副看護部長） 鈴木 美恵子



入退院支援室（退院支援）、医療福祉相談室、がん相談支援センターは、本館3階東側にあります。（入院患者さんが退院支援に関する相談をご希望の場合は、病棟スタッフにお申し出ください。）



地域医療連携室、入退院支援室（入院支援）、医療福祉相談室（医療費無料低額診療事業に関する相談）は本館1階ロビー（本館正面玄関最寄り）にあります。

外来受診フロア案内

総合健診センター

消化器診断センター

救命救急センター (ER)

心電図室

ICU 控室

臨床検査科

放射線科

リハビリテーション科

総合周産期母子医療センター

歯科・口腔外科

産婦人科

ペインクリニック

眼科

内科 (13, 14, 15)

形成外科

泌尿器科

整形外科

小児科

耳鼻科

化学療法室

皮膚科

心臓血管外科

循環器内科 (12)

脳神経外科

小児特診

内科 (11)

内科 (10)

休日・夜間入口

休日・夜間受付

医療安全(苦情)相談室

ストマ外来

中央処置室

中央採血室

外科

入会院計

総合受付

薬局

患者支援センター

休憩コーナー

総合案内

地域医療連携室

コンビニ

出口

正面玄関入口

休憩コーナー

ドクトール

駐車券受付

★マークはそれぞれの受付です

★マークはそれぞれの受付です

★マークはそれぞれの受付です